

令和5年度島根大学大学院
教育学研究科入試問題（I期）
《教育実践開発専攻（専門職学位課程）》

小論文

注 意

- 1 問題紙は、指示があるまで開いてはならない。
- 2 問題紙2枚(表紙含む)、解答用紙2枚、下書き用紙2枚である。

指示があってから確認し、解答用紙と下書き用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。

- 3 解答は、解答用紙に清書すること。
- 4 問題紙は、持ち帰ること。

受験番号

《教育実践開発専攻（専門職学位課程）》
小論文 問題

以下の課題文を読んで、それに続く問いに答えなさい

課題文

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

問 「個人や社会のウェルビーイング」の実現に向けて、学校教育を通して取り組むべきこと、および教師として実践していくことが望ましいと考えられる具体的な取り組みについて、1000文字程度で、あなたの考えを述べなさい。論述においては、子どもをとりまく学校や社会の状況、教育に関わる政策動向等の視点を踏まえ、具体的な取り組みを提案すること。

引用・参考文献

- 1) 白井俊 (2020) 『OECD Education2030 プロジェクトが描く教育の未来－エージェンシー、資質・能力とカリキュラム－』ミネルヴァ書房
- 2) 教育再生実行会議 (2021) 『ポストコロナ期における新たな学びの在り方について (第十二次提言)』
- 3) 文部科学省(2022年10月13日)「次期教育振興基本計画の策定に向けた基本的な考え方(案)」
- 4) 教育新聞(2022年9月20日)「日本型ウェルビーイング、「協調的な幸福感」を重視 文科省素案」